

JAS Information

平成26年度第5回(平成27年2月度)

理事会報告・運営会議報告

理事会 議事

2015年2月4日に平成26年度第5回理事会・運営会議が理事14名、監事1名と3名の理事代理の方の出席のもと、高輪台 日本オーディオ協会 大会議室にて開催されました。

1. 第1号議案：新会員の承認を求める件

平成26年第4回(平成27年12月)理事会以降、平成27年2月3日までの間に入会申請をされました法人正会員3社、並びに個人正会員2名の入会が承認されました。今回入会承認された法人正会員3社は下記に通りです。

- ・ ホシデン株式会社：電子部品メーカーの大手。自社ブランド「SATOLEX」を持ち、ヘッドホンを商品化し、販売。
- ・ 協和ハーモネット株式会社：本業はフジクラをはじめとする電線関係のケーブルの加工販売。自社ブランド「ZERO AUDIO」を持ち、ヘッドホンを商品化し、販売。
- ・ スペック株式会社：高級オーディオメーカー。これまでも音展等、協会主催のイベントに参加しており、今後、法人会員として参加し、協会活動への更なる貢献が期待される。

2. 第2号議案：平成26年度諮問委員追加新任者の承認を求める件

Surround Sound 部会、ネットワーク・オーディオWG 委員として協会活動に貢献されています武田正美氏(現ビクターエンターテイメント株式会社)の諮問委員への就任が承認されました。武田氏は今後ハイレゾ関係の技術面でのアドバイスを頂く予定です。

運営会議 議事

1. 平成26年度収支見込み

12月実績ベースの平成26年度の収支見込みは、ハイレゾへの取り組み等により、ハイレゾロゴ関係の支出が増加しましたが、新規入会法人会員9社の会費増収により、収支見込みは+154万円(予算は+26万円)との報告が事務局よりされました。

2. 平成27年度事業計画策定について：

来年度の事業計画は次回理事会へ向け策定中ですが、校條会長より事業計画骨子が下記の通り説明されました。

継続重要事業計画骨子

- ・ 音の日事業：協会の重要な継続事業と位置付け、昨年行った「学生による録音コンテスト」は継続予定。「音の匠」引き続き、オーディオ文化、及び音楽文化、並びにそれらに類する文化創造や社会貢献をされた方々を「音の匠」として顕彰する。
- ・ 展示会事業：昨年は「ハイレゾ・オーディオ」導入により盛況を博したが、本年度は単に商品展示のみではなく、最新技術情報の開示啓発、大型イベントの開催による啓発とファン層の醸成、そしてメーカー主導ではない組み合わせ試聴会等を目的に開催を提起する。
- ・ 音のサロン事業：協会ならではのメーカー横断で且つソフトを前面に出した啓発活動として定着し、オーディオファン層の拡大に貢献しており、次年度は地方開催を含め、12回/年を目指す。また、活動メンバーの拡大も予定する。

- ・JAS ジャーナル発行事業：協会技術機関誌としての位置づけを強化し、協会活動の大きなテーマである「ハイレゾ・オーディオへの取り組み」への連動を促進し、更なる内容の充実を目指す。

新規事業計画骨子

- ・ハイレゾリューション推進事業：導入後の健全な市場育成に向け、業際拡大に伴う新定義やスペックの検討など、「ハイレゾ定義・スペック検討委員会」、またカーオーディオ分野を対象とした「カーオーディオ・ハイレゾ専門委員会」を立ち上げ、更なるハイレゾ・オーディオへの取り組みを充実させる。
- ・新音源等開発事業：ハイレゾ市場拡大ではそれらにふさわしい音源が重要であり、ソフト業界への働きかけ、テスト音源の開発等に取り組む。

現存事業計画骨子

- ・ヘッドホン試聴環境改善事業：ヘッドホンは携帯音楽プレーヤー、スマホの普及により重要な試聴手段となっており、引き続き、ヘッドホン試聴のより良い試聴環境を提案する為、「頭内定位問題」の研究と「ハイレゾ対応ヘッドホン・イヤフォン」の測定方法の確立研究等を継続する。
- ・デジタルホームシアター普及事業：4K・8K時代に相応しい内容として、ホームシアターとハイレゾの連動、及び新しい「サラウンド」の在り方研究など実需用に繋がる活動を検討し、国内ホームシアター市場の健全な拡大に努める。
- ・ネットワーク・オーディオ推進事業：ハイレゾ・オーディオ導入に伴い、機器間連携、用語の整理等の課題に取り組み、新たなオーディオ再生機器系の啓発に努める。
- ・生録普及事業：PCM録音機は国内市場として140万台～150万台規模になり、生録普及委員会開始時の約倍の市場へと成長した。今後、「良い音」への実験的研究と「ハイレゾ音源作り」を推進する。

3. 展示会：平成27年開催確認

校條会長より、平成27年度展示会開催に関する考え方と基本計画が説明され、理事会としての開催判断、及び、今度のスケジュールが確認されました。

主な計画内容は下記の通りです：

- ・展示会名：「オーディオ・ホームシアター展 2015」
- ・会場：昨年同様「タイム24ビル」
- ・開催日：2015年10月16日(金)～18日(日)
- ・基本コンセプト：
 - － ハイレゾ普及年として基本技術解説と地についた最新情報の発信と体験啓発
 - － エンターテインメント性の追求
 - － 市場創造と年末需要につなげる
- ・内容強化
 - － 展示訴求の仕方：ハイレゾを活用した若年層への訴求と勧誘策の連携
 - － セミナーの企画：重複時間の整理を行う。若年層、ファミリー層も対象とする。
 - － NHK企画、(8K)：より興味のあるコンテンツ提供を依頼する
 - － ホームシアター訴求：4K及び日本住宅での活用方法の提案
 - － 生コンサート：若年層とオーディオマニアの区別を行う内容の吟味
- ・今後の主要日程：
 - － 3月25日：実行計画決定(次回理事会)
 - － 4月8日：出展社募集説明会、専門誌・業界紙内案内
 - － 6月9日：出展社募集締め切り
 - － 7月中旬：記者発表・展示会装飾説明会